

平成18年度 分野チェックリスト

分野名	自律・教育分野		分野番号	5
分野担当部	教育委員会事務局	関連部	区民生活部	

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			15年度	16年度	17年度	22	年度末
1	学習内容を理解している児童・生徒の割合	%		70.4	70.7	75%以上	
2	ボランティアに参加したことがある区民の割合	%	18.9	21.4	22.0	30.0	
3	不登校児童・生徒数	人	214	202	247	170	
4	いじめや仲間はずれがなく生活していると感じている子どもの割合	%	72.7	75.0	70.9	80.0	
5	区民1人あたりの文化的な生活時間	時間	平日1時間36分 休日2時間04分	平日1時間40分 休日2時間13分	平日1時間53分 休日2時間16分	平日2時間15分 休日2時間40分	

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)	
1	平成16年度から、区独自の学力等調査(小学校3年生から中学校3年生)を実施したことから、新たに平均達成率(設定した目標を達成した児童・生徒の割合)に指標値を変更した。区学力等調査は、また、2か年での実施であるが、16年度との比較では0.3%上昇している。東京都の学力調査結果で見ると、小学校・中学校ともに上位にランクしており、いずれも好成績を上げている。区学力調査と同時に「学習・生活についてのアンケート」とのクロス集計など分析を行い、児童・生徒の学力や生活習慣などの課題に効率よく、的確に対応するため、教職員研修や教育研究奨励、学力向上調査委員会の活動等を充実し、教員・学校の指導力向上を図り、また、少人数学習の機会充実や教員加配等により、基礎的・基本的な学力の定着に取り組むことにより、平成22年度末目標値の達成を目指していく。
2	平成15年度から3か年連続で指標値が増加している。平成17年度後半には、全小学校で「子ども安全ボランティア」組織を立ち上げ、全区的に地域の課題として、子どもの登下校時の見守りの取組みが行われている。また、都立高校の生徒が、小学校児童の安全確保のために、可能な時間帯に、可能な支援を行っているなど、新たな社会貢献活動等に参加する区民が増えている。地縁組織である町会・自治会、NPO等をはじめとした地域住民や地域の活動組織が主体となった自主的な活動も活性化していることや交流事業を行うNPOやボランティア団体が増加していることなどが増加の一因と考えられる。区は、全ての人が、生涯現役で、各々の個性や能力を發揮しながら、活力ある地域社会を築いていくことを区政の柱としている。区民やNPOなどの様々な団体が自主的・多面的に地域で活動しやすい環境を整備し、支援を行うことにより、「ボランティア活動してみたいと思うがしたことはない」と意欲のある区民の割合が46.8%となっていることから、今後、一層ボランティア活動に参加する区民の増加が期待される。
3	不登校児童・生徒数については、過去3年間はほぼ横ばいで人数が推移してきたが、平成17年度は前年度比較から45人増となった。不登校の直接的なきっかけは多岐にわたっているが、「親子関係をめぐる問題」の出現率が14%増(増加率1位)となっており、不登校人数の増加の大きな要因の一つに、親子関係に起因する問題が考えられる。一方で、不登校解消率(不登校人数に対して、指導によって登校できるようになった人数の割合)は、平成16年度の13%に対し、平成17年度は24%となっており、不登校対策の効果も表れている。平成18年度は、スクールカウンセラーを小学校は昨年度10人に対し、20人に増員し、また、中学校には全校配置(平成15年度より)し、よりきめ細やかな対応ができる体制を整えている。また、「杉並区教育ビジョン推進計画」に、スクールソーシャルワークの推進や適応指導教室の見直しをはじめとする不登校対策の再構築・充実を位置づけ、現在、済美教育センターを中心に取り組んでいる。
4	指標値は「学校評価アンケート」結果から算出しており、数値は増加傾向と良い方向に向かっていたが、平成17年度は減少へと転じた。減少の要因は明らかでないが、いじめや仲間はずれに対し、何らかの不安を抱えている児童・生徒が増えている可能性がある。学校教育において、いじめは重要課題であり、学校の相談体制の充実や生徒会活動・学級活動等での指導については、多くの学校で取り組んでいる。小学校スクールカウンセラーの週1日派遣の確保、教育相談の機能強化、創意工夫のある教育指導などにより、児童・生徒の不安意識を解消し、「学校が楽しい、充実している」と感じる児童・生徒を増やしていく。
5	文化的な生活時間は、平成15年度から3か年連続で平日・休日ともに増加している。ライフスタイルの変化により、特に平日に趣味や学習活動、スポーツ活動に時間を割いている区民が増えていると考えられる。 現在、多くの区民が区の文化事業や共催・後援により実施した事業に参加しており、優れた文化芸術に触れる機会が確保されている。「歩きながら、元氣と文化が生まれる街、すぎなみ」の実現に向け、杉並公会堂や21年3月開設予定の杉並芸術会館を拠点とした地域文化の創造、発展を目指すとともに、区民の生涯学習環境の充実については、体育施設や図書館の運営に指定管理者制度を導入するなど、事業執行の見直しを進めながら、より一層のサービス向上に取り組む、区民一人ひとりの文化的な生活時間の向上を図っていく。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)
	定義	
1	平均達成率	【17年度】<平均正答率合計> 小学校5年生(4教科:国語、算数、社会、理科) 中学校2年生(5教科:国語、数学、英語、社会、理科) 杉並区 東京都 小学校 325.8 小学校 311.2 中学校 391.8 中学校 374.8
	平成17年度杉並区立小・中学校学力調査において設定した目標を達成した児童・生徒の割合(杉並区学力向上委員会報告書より) 【関連データ】 (都教育庁:「平成17年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果より)	
2	ボランティアに参加したことがある区民の割合	【17年度】 杉並区 東京都(15年度) 22.0% 28.5%
	区民アンケートで、「あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか」に「現在活動している」「以前活動をしていたが現在はしていない」と回答した人の割合 【関連データ】 (杉並区区民意向調査より) (都教育庁:東京の教育に関する都民意識調査より)	
3	不登校児童生徒数	不登校児童・生徒(年度に30日以上欠席)の出現率【17年度】 杉並区 東京都 小学校 0.46% 小学校 0.32% 中学校 2.66% 中学校 3.12%
	年度に30日以上欠席(病気等の欠席を除く)した児童生徒の人数 【関連データ】 (都教育庁:平成17年度における児童・生徒の問題行動等の実態についてより)	
4	いじめや仲間はずれがなく生活していると感じている子どもの割合	1校あたりのいじめ件数【17年度】 杉並区 東京都 小学校 0.32件 小学校 0.22件 中学校 0.74件 中学校 0.93件
	済美教育研究所で取りまとめた「学校評価アンケート」による。小学校「いじめや仲間はずれなどがなく、友達どうし仲良く生活していますか」、中学校「いじめなどがないように努め、相手の立場を尊重して互いに協力しあって生活していますか」との問いに対しての評価平均を%で表した。 【関連データ】 (都教育庁:平成17年度における児童・生徒の問題行動等の実態についてより)	
5	区民1人あたりの文化的な生活時間	
	区民アンケートで、「あなたが取り組んでいる趣味や習いごと、社会活動はありますか」に、「趣味・娯楽活動」「教養・学習活動」「スポーツ活動」と回答した人の1日にかかるだいたいの時間の平均値(平日・休日別)。 (杉並区区民意向調査より)	
特記事項		